



平成21年度 中国地方整備局関係予算概要(鳥取県内)

鳥取河川国道事務所
殿ダム工事事務所
倉吉河川国道事務所
日野川河川事務所
境港湾・空港整備事務所
出雲河川事務所

【問い合わせ先】

| | | | |
|-------------|--------|------------|---------------------|
| 鳥取河川国道事務所 | (技)副所長 | いとう 伊藤 | TEL 0857-22-8435(代) |
| 殿ダム工事事務所 | (技)副所長 | おおた 太田 | TEL 0857-29-9570(代) |
| 倉吉河川国道事務所 | (技)副所長 | よしおか 吉岡 | TEL 0858-26-6221(代) |
| 日野川河川事務所 | (技)副所長 | うえはし 上橋 | TEL 0859-27-5484(代) |
| 境港湾・空港整備事務所 | (技)副所長 | くわな 桑名 | TEL 0859-42-3145(代) |
| 出雲河川事務所 | (技)副所長 | ふじやま 藤山 | TEL 0853-21-1850(代) |

平成21年度事業費（事務所別）

（単位：百万円）

| 事業部門 | | 平成21年度 事業費（当初） | | | | | | 20年度 （当初） | |
|---------|-----------------|----------------|-------|--------|-------|-----|-------|--------------|--------|
| | | 鳥取 | 殿 | 倉吉 | 日野川 | 出雲 | 境 | | 合計 |
| 河川事業 | 改修 | 428 | / | 269 | 315 | 113 | / | 1,125 | 903 |
| | 環境整備 | 0 | / | 6 | 0 | 258 | / | 264 | 366 |
| | 維持修繕 | 570 | / | 290 | 504 | 102 | / | 1,466 | 1,398 |
| | 応急対策 | 0 | / | 40 | 0 | 0 | / | 40 | 51 |
| | 小計 | 998 | / | 605 | 819 | 473 | / | 2,895 | 2,718 |
| 砂防事業 | 砂防 | / | / | 620 | 795 | / | / | 1,415 | 1,417 |
| | 小計 | / | / | 620 | 795 | / | / | 1,415 | 1,417 |
| 海岸事業 | 海岸 | / | / | / | 624 | / | / | 624 | 621 |
| | 小計 | / | / | / | 624 | / | / | 624 | 621 |
| 河開川発総事業 | 堰堤維持 | / | / | / | 223 | / | / | 223 | 221 |
| | 施設改良 | / | / | / | 97 | / | / | 97 | 623 |
| | 小計 | / | / | / | 320 | / | / | 320 | 843 |
| 殿ダム建設事業 | | / | 8,455 | / | / | / | / | 8,455 | 5,473 |
| 道路事業 | 地域連携 | 11,610 | / | 8,439 | / | / | / | 20,049 | 21,770 |
| | 沿道環境 | 0 | / | 0 | / | / | / | 0 | 194 |
| | 維持修繕 | 1,994 | / | 687 | / | / | / | 2,681 | 2,350 |
| | 交通安全 | 1,165 | / | 1,059 | / | / | / | 2,224 | 2,236 |
| | 雪寒 | 65 | / | 27 | / | / | / | 92 | 196 |
| | 電線共同溝 | 750 | / | 36 | / | / | / | 786 | 801 |
| | 小計 | 15,584 | / | 10,247 | / | / | / | 25,832 | 27,547 |
| 港湾事業 | 鳥取港 | / | / | / | / | / | 801 | 801 | 451 |
| | 境港 | / | / | / | / | / | 601 | 601 | 601 |
| | 小計 | / | / | / | / | / | 1,402 | 1,402 | 1,052 |
| 空港事業 | 美保飛行場 （米子空港） | / | / | / | / | / | 584 | 584 | 742 |
| | 小計 | / | / | / | / | / | 584 | 584 | 742 |
| 合計 | | 16,582 | 8,455 | 11,472 | 2,559 | 473 | 1,986 | 41,527 | 40,412 |

- （注） 1. 出雲河川事務所、境港湾・空港整備事務所は鳥取県関連分のみである。
 2. 事業費には調査費・災害復旧費を含まない。
 3. 上記のほかに附帯・受託工事を施行する。
 4. 事業費は、小数点以下を四捨五入している。
 5. 上記のほかに附帯・受託工事を施行する。

鳥取河川国道事務所

平成21年度事業の概要

鳥取河川国道事務所

1. 河川事業

安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり

1) 千代川渡一木改修事業

【資料編 鳥取-1】

鳥取市河原町渡一木地先において、堤防高不足となっている、約 280m 区間の改修事業を促進します。

2) 直轄河川維持修繕費

主として、堤防除草、伐木、ゴミの除去、樋門の管理・修繕を行います。また、平成21年度には湯所川排水機場、狐川排水機場の機器修繕を始め、根固工などの河川管理施設の修繕を行います。

3) 直轄河川工作物関連応急対策事業

樋門本体及び樋門周辺の空洞化補修を行います。

2. 道路事業

周辺地域との交流・連携と、国際交流拠点の強化

○高速自動車国道関連

1) 中国横断自動車道 姫路鳥取線

【資料編 鳥取-2】

中国横断自動車道姫路鳥取線は、姫路市を起点に兵庫県・岡山県・鳥取県の3県を結び鳥取市に至る、延長約86kmの国土開発幹線自動車道です。このうち、中国縦貫自動車道から鳥取市を結ぶ佐用～西粟倉間及び智頭～鳥取間(合計約43km)は、新直轄方式により整備しています。

平成21年度は佐用～西粟倉間の改良・橋梁・トンネル工事推進及び、河原～鳥取間の舗装工事、道路付属施設及び設備工事等を行い、河原～鳥取間及び佐用～大原間について平成21年度の供用を目指します。

○高規格幹線道路関連

1) 一般国道9号 鳥取西道路 (延長 19.3km) 【資料編 鳥取-3】

鳥取西道路は、一般国道9号の交通混雑の緩和、交通安全の確保及び交通事故等による通行止め時の代替路の確保を目的とした、鳥取市本高から鳥取市青谷町青谷に至る延長約19.3kmの道路です。

平成21年度は、鳥取市本高～鳥取市松原間において橋梁、改良工事を推進するとともに、鳥取市松原～鳥取市青谷町青谷間の用地買収及び調査・設計を推進します。

2) 一般国道29号 津ノ井バイパス (延長 9.5km) 【資料編 鳥取-4】

津ノ井バイパスは、一般国道29号の鳥取周辺の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした、鳥取市祢宜谷から鳥取市菖蒲に至る延長約9.5kmの道路です。平成12年度までに、鳥取市香取から鳥取市菖蒲間(延長約7.5km「本線・側道部」)が開通しています。

平成21年度は、吉成交差点の立体化を含む鳥取市宮長から鳥取市叶間1.0kmを7月に、鳥取ICアクセス部分である鳥取市菖蒲から鳥取市服部間0.7kmを姫路鳥取線の供用にあわせて開通を目指します。

3) 一般国道373号 志戸坂峠道路 (延長 18.5km) 【資料編 鳥取-5】

志戸坂峠道路は、一般国道373号の鳥取と岡山県境部に位置する延長18.5kmの道路であり、交通隘路区間の解消及び鳥取自動車道との連携により山陽地域や京阪方面との連携を目的とした高規格な道路です。目標であった平成19年度に全線2車線供用を開始しています。

平成21年度は、昭和56年に供用した志戸坂トンネルを含むI期区間について、電気・機械設備の整備を行います。

○地域高規格道路関連

1) 一般国道9号 駈馳山バイパス (延長 7.7km) 【資料編 鳥取-6】

駈馳山バイパスは、一般国道9号の岩美郡岩美町から鳥取市福部町間の交通安全の確保及び峠部の線形不良箇所の解消を目的とする道路です。

平成21年度は、引続き設計及び用地買収を促進し、福部地区及び大谷・本庄地区等において、改良工事(盛土・地盤改良)及び湯山高架橋などの橋梁工事を推進します。

競争力のある地域経済社会の再構築

○電線共同溝整備事業

【資料編 鳥取－7】

電線共同溝は、道路地下に光ファイバー、電力ケーブル等をまとめて収容し、災害時の避難路・輸送経路の確保、歩行者空間の確保、路上工事の削減による渋滞の減少等良好な都市景観の形成等を目的として整備を進めているところです。

鳥取市内の一般国道53号で整備を進めており、これまでに鳥取市天神町から今町、新町から本町及び西町で整備を完了しています。

平成21年度は一般国道53号の鳥取市材木町、湯所町、青葉町および田園町の事業を進めていきます。

美しく豊かな自然・歴史・文化などを活かした地域づくり

○交通安全施設等整備事業

交通安全施設等整備事業は、交差点改良、線形改良などの事故対策、歩道のバリアフリー化、拡幅等の歩道整備、道路情報板の更新等の整備を進めています。

平成21年度は引き続き、事故危険箇所の対策、あんしん歩行エリア内の対策を重点的に整備を推進します。

1) 一般国道29号 堀越歩道整備

【資料編 鳥取－8】

一般国道29号の八頭郡八頭町堀越～鳥取市柵宜谷に位置する当該地区は、JR因美線と山に29号が挟まれており歩道の狭い区間で、JR側に道路をよせることにより現況歩道を拡幅する事業です。

平成21年度は、工事に着手し、整備を推進します。

殿ダム工事事務所

平成21年度事業の概要

殿ダム工事事務所

殿ダム建設事業

【資料編 殿ダム-1】

殿ダム建設事業は、平成9年度末から用地取得に着手し、平成12年度から工事用道路などの準備工事を進め、平成19年6月にダム本体工事に着工しています。

また、平成13年度から本格的に工事を進めている付替道路工事は、平成18年12月には主要地方道鳥取国府岩美線の一部及び市道神護1号線の全線を供用しています。

平成21年度は、ダム本体盛立工事の推進、ダム管理用設備工事の着手、主要地方道鳥取国府岩美線の全線供用、貯水池横断橋などの付替市道工事の進捗を図ります。

○ダム本体関連工事

ダム本体盛立工事ならびに洪水吐きコンクリート打設工事を推進するとともに、管理庁舎などダム管理用設備工事等に着手します。

○付替道路工事

主要地方道鳥取国府岩美線の早期全線供用を目指して付替県道工事を推進します。
また、貯水池横断橋などの付替市道なわしろやまさき(楠城山崎線)ならびにかんごとの神護殿線)についても工事を推進します。

○諸調査など

環境調査及びダム本体工事の円滑な推進を図るための諸調査を引き続き実施するとともに、ダムの試験湛水*に向けた検討および設計を実施します。

* 試験湛水:ダムの完成時に管理に移行するため、洪水時最高水位以下の範囲内で、ダムの水位を上昇及び下降させ、ダム、基礎 地盤および貯水池周辺地山の安全性を確認するものです。

倉吉河川国道事務所

平成21年度事業の概要

倉吉河川国道事務所

1. 河川事業

天神川改修は、昭和9年9月洪水（室戸台風）の実績流量をもとに築堤、掘削、護岸を重点に進めてきました。

平成21年度は、流下能力向上及び環境整備のための整備として、地元有識者による検討会で作成した「天神川RCZ（リバー・コミュニティゾーン）整備構想」にもとづき河川環境の保全と創造を図ります。

1) 天神川 本泉改修事業 【資料編 倉吉-1】

三朝町本泉地先 天神川において、流下能力を確保するため、平成21年度より河戸橋改築に着手します。平成21年度は用地買収及び下部工を促進します。

2. 砂防事業

天神川水系の直轄砂防事業は、昭和9年9月の室戸台風災害を契機に昭和11年から継続実施しており、平成20年度末までに、砂防堰堤34基、床固工5基、溪流保全工約13.7kmが完成しています。

平成21年度は、倉吉市関金町において小鴨川支川 小泉谷川の砂防堰堤及び泉谷川の砂防堰堤をそれぞれ促進します

また、三朝町においては、天神川支川 大谷川の砂防堰堤及び福本川の砂防堰堤をそれぞれ促進します。

1) 小泉2号砂防堰堤 【資料編 倉吉-2】

関金町小泉地先 小泉谷川において、土石流及び流木被害を防止する基幹施設として、平成17年度より着手しており、平成21年度は前庭保護工を促進します。

2) 野添5号砂防堰堤 【資料編 倉吉-3】

関金町野添地先 泉谷川において、土石流及び流木被害を防止する基幹施設として、平成21年度より用地買収に着手します。

3) 下畑砂防堰堤 【資料編 倉吉-4】

三朝町下畑地先 大谷川において、土石流及び流木被害を防止する基幹施設として、平成17年度より着手しており、平成21年度は本体工を促進します。

4) 福本砂防堰堤 【資料編 倉吉-5】

三朝町福本地先 福本川において、土石流及び流木被害を防止する基幹施設として、平成20年度より着手しており、平成21年度は用地買収を促進します。

3. 道路事業

○一般国道9号関連

一般国道9号のバイパスは、環日本海交流の基幹軸の一翼を担うとともに、緊急時における代替ルートの確保による円滑・迅速な活動の支援、交通隘路区間の解消による経済活力の増進、及び交流・連携を促し地域の活性化にも寄与する高規格な道路として、下記の事業を促進します。

1) 東伯・中山道路

【資料編 倉吉－6】

東伯、田越地区等の改良工事、赤碕地区等の橋梁工事及び舗装工事を促進します。

2) 名和・淀江道路

【資料編 倉吉－7】

残りの約4.3km区間について、用地買収、文化財調査を促進すると共に上坪地区の改良工事、倉谷地区等の橋梁工事を促進します。

3) 中山・名和道路

【資料編 倉吉－8】

調査・設計、用地買収を促進すると共に、文化財調査及び赤碕中山IC付近の改良工事に着手します。

○管理関連

【競争力のある地域経済社会の再構築】

1) 米子市内電線共同溝

【資料編 倉吉－9】

米子市内の電線類地中化事業は、快適な道路空間の形成・都市防災機能の向上等を目的に進められています。

平成20年度に完成した米子市東福原の電線共同溝本体へ引込管路の施工を行い、施工完了後に電線類を電線共同溝本体へ入線及び電柱の撤去を行います。

日野川河川事務所

平成21年度 事業の概要

日野川河川事務所

1. 河川事業

1) 日野川 ^{みぞぐち}溝口地区河川改修事業の促進 【資料編 日野川－1】

伯耆町溝口地区の日野川改修事業として、排水樋門の付け替え及び水路の付け替え工事を促進する。

2. 砂防事業 【資料編 日野川－2】

1) 大山山系日野川 ^{まの}真野2号砂防堰堤工事の促進

伯耆町真野地内において、荒廃の進む別所川の整備として砂防堰堤本体周辺工事を促進する。

2) 大山山系日野川 ^{おおさか}大坂4号砂防堰堤工事の促進

伯耆町大坂地内において、荒廃の進む^{しらみがわ}白水川の整備として砂防堰堤本体工事に着手する。

3) 大山山系日野川 三の沢砂防堰堤工事に着手

江府町大河原地内において、荒廃の進む小江尾川の整備として事業に着手する。

4) 大山山系日野川 ^{すごう}須郷砂防堰堤工事に着手

江府町大河原地内において、荒廃の進む小江尾川の整備として事業に着手する。

3. 海岸事業

1) 皆生海岸 夜見・富益工区の侵食対策の促進 【資料編 日野川－3】

夜見・富益工区から境港工区において、サンドリサイクル（砂の循環）による保全対策と人工リーフ（砂の安定）整備を促進する。

4. ダム事業

1) 菅沢ダム 堰堤改良事業の促進 【資料編 日野川－4】

小規模放流設備工を促進する。

境港湾・空港整備事務所

1. 基本方針

平成21年度は、整備目標の明確化や成果主義重視の視点に立った事業実施を図っていきます。

また、地域との交流・連携を強化し、港湾・空港と地域が一体となった港湾・空港行政を展開していきます。

1) 鳥取港改修事業

鳥取港は、平成15年11月に中国・四国地方整備局が制度化した「みなとオアシス」制度の第1弾として、平成16年1月に登録されました。この登録により、物流のみでなく、港に人々が気軽に立ち寄れる「憩いの場」として、地域の人々や観光客の交流拠点となるような港湾整備も期待されているところです。

そのため、年間を通じて安全かつ利用しやすい港となるように、新規航路（西浜航路）の開設に必要な防波堤（第1）の西側への延伸事業や、防波堤（第1）の改良事業を実施します。

2) 境港改修事業

境港および中海沿岸地域は、平成7年にFAZ（わが国の輸入促進地域）に指定され、環日本海時代の西日本の物流・交流拠点として機能充実が図られてきました。

境港のコンテナ取扱貨物量は約1万5千個（実入りのみ）、輸出入総額は前年に引き続き1,000億円を突破するなど、今後も地域経済に資するよう期待されています。

平成21年度は、引き続き、安全かつ安定した港湾貨物の取り扱いを実現し、背後立地企業の物流効率化を図るため、外港（竹内地区）南端の防波堤延伸を実施します。

2. 空港事業

美保飛行場（米子空港）整備事業

堅調に伸びる東京便の旅客需要の増加に対応した大型ジェット機の導入による効率的な輸送を可能とするため、平成13年度より滑走路を2,500mに延長する事業を実施しています。

平成17年度に環境影響評価に係る手続きを完了し、これまでに現空港内及び拡張部の用地造成工事、滑走路、誘導路、駐機場（エプロン）の舗装工事等を実施しました。

平成21年度はJR境線及び県道跡地の滑走路・誘導路の舗装工事等を進め、2500m滑走路の供用を目指します。

出雲河川事務所

平成21年度 斐伊川河川事業概要(鳥取県)

1. 予算額

【金額単位:百万円】

| 事業費 | 平成20年 (当初) | 平成21年 | 伸率 (H21/H20) |
|----------------|---------------|-------|-----------------|
| 河川改修費 | 570 | 1129 | 1.98 |
| 斐伊川水系環境整備事業 | 260.5 | 258.0 | 0.99 |
| 河川維持修繕費 | 104.6 | 101.8 | 0.97 |
| 河川工作物関連応急対策事業費 | 0.0 | 0.0 | - |
| 合計 | 422.1 | 472.7 | 1.12 |

2. 事業の概要

河川改修費【資料-1】

- 中海において、近年高潮で浸水被害を受けている境港市渡地区と米子市崎津地区で地元
の理解を得ながら湖岸堤整備に着手します。

総合水系環境整備事業費【資料-2】

- 中海において、水質浄化のための湖岸植生帯(藻場)整備等を行います。

河川維持修繕費

- 主として堤防除草、ゴミの除去、湖面の清掃、樋門の管理を行います。



国土交通省
中国地方整備局
<http://www.cgr.mlit.go.jp>

お知らせ
平成21年 3月31日
資料提供先：鳥取県政記者クラブ

平成21年度 中国地方整備局関係予算概要(鳥取県内)

資料編

鳥取河川国道事務所
殿ダム工事事務所
倉吉河川国道事務所
日野川河川事務所
境港湾・空港整備事務所
出雲河川事務所

【問い合わせ先】

| | | | |
|-------------|--------|---------------------------|---------------------|
| 鳥取河川国道事務所 | (技)副所長 | <small>いとう</small> 伊藤 | TEL 0857-22-8435(代) |
| 殿ダム工事事務所 | (技)副所長 | <small>おおた</small> 太田 | TEL 0857-29-9570(代) |
| 倉吉河川国道事務所 | (技)副所長 | <small>よしおか</small> 吉岡 | TEL 0858-26-6221(代) |
| 日野川河川事務所 | (技)副所長 | <small>うえはし</small> 上橋 | TEL 0859-27-5484(代) |
| 境港湾・空港整備事務所 | (技)副所長 | <small>くわな</small> 桑名 | TEL 0859-42-3145(代) |
| 出雲河川事務所 | (技)副所長 | <small>ふじやま</small> 藤山 | TEL 0853-21-1850(代) |

鳥取河川国道事務所

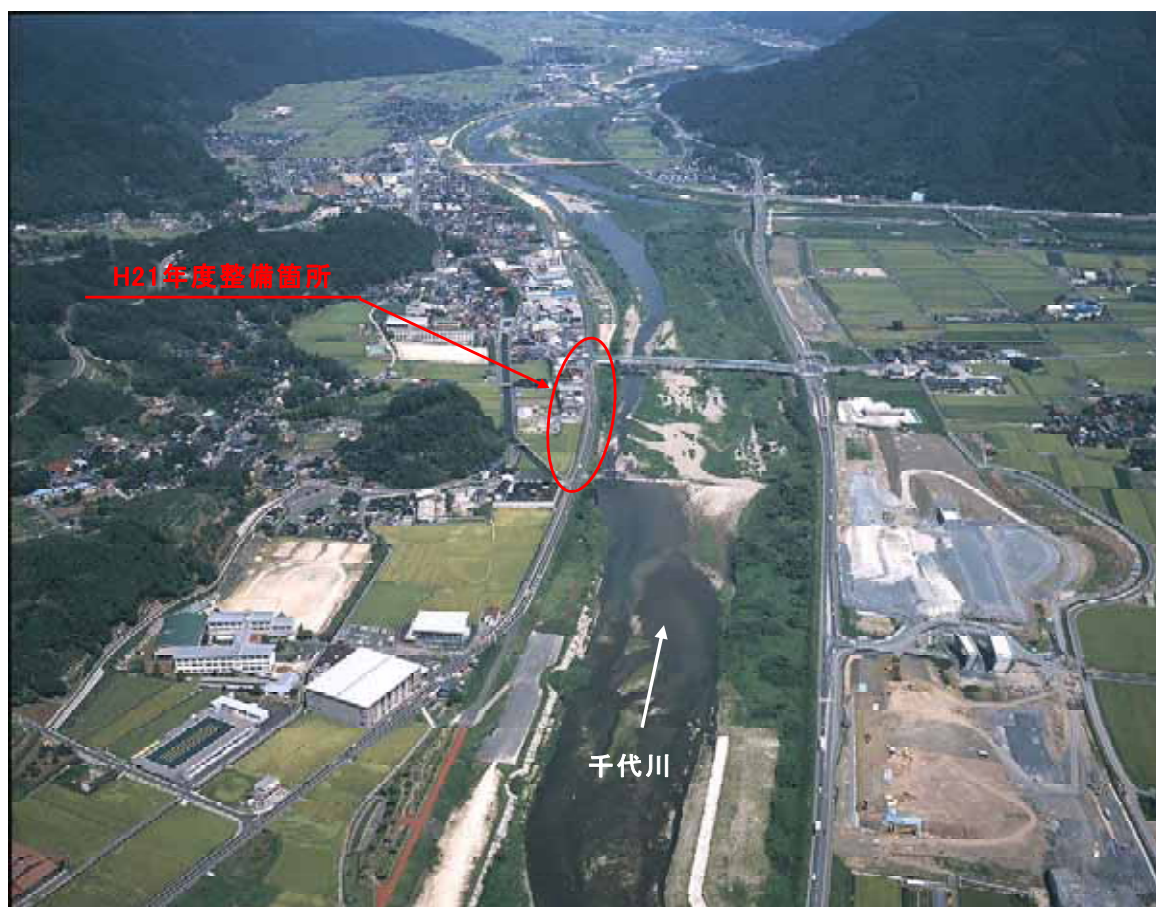
せんだいがわ わたりひとつき
千代川渡一木改修事業

事業費 428百万円

事業推進

市町村名: 鳥取市河原町
対象河川: 千代川水系千代川

鳥取市河原町渡一木地先において、千代川直轄管理区間で堤防高不足となっている、渡一木地区の改修事業を促進します。



期待される整備効果

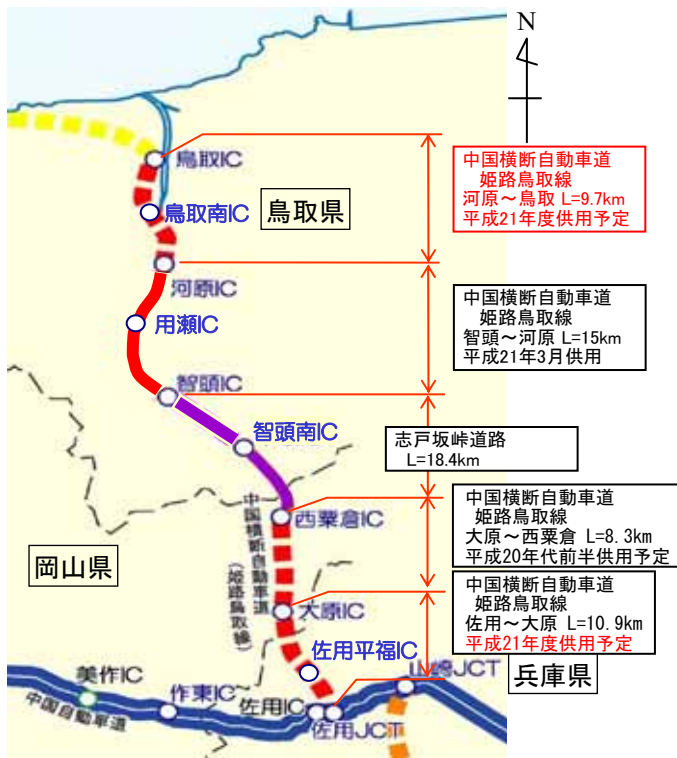
■河原町渡一木集落及び河原市街地の浸水被害の解消

中国横断自動車道 姫路鳥取線

ひめじ とっとり

中国横断自動車道姫路鳥取線は、姫路市を起点に兵庫県・岡山県・鳥取県の3県を結び鳥取市に至る、延長約86kmの国土開発幹線自動車道です。このうち、中国縦貫自動車道から鳥取市を結ぶ佐用～西粟倉間及び智頭～鳥取間(合計約43km)は、新直轄方式により整備しています。

平成21年度は佐用～西粟倉間の改良・橋梁・トンネル工事推進及び、河原～鳥取間の舗装工事、道路付属施設及び設備工事等を行い、河原～鳥取間及び佐用～大原間について平成21年度の供用を目指します。



工事進捗状況



河原～鳥取間 鳥取(倭文玉津高架橋付近)



佐用～西粟倉間 美作市(中西橋付近)

※事業中箇所(IC名、橋梁名については、全て仮称です。)

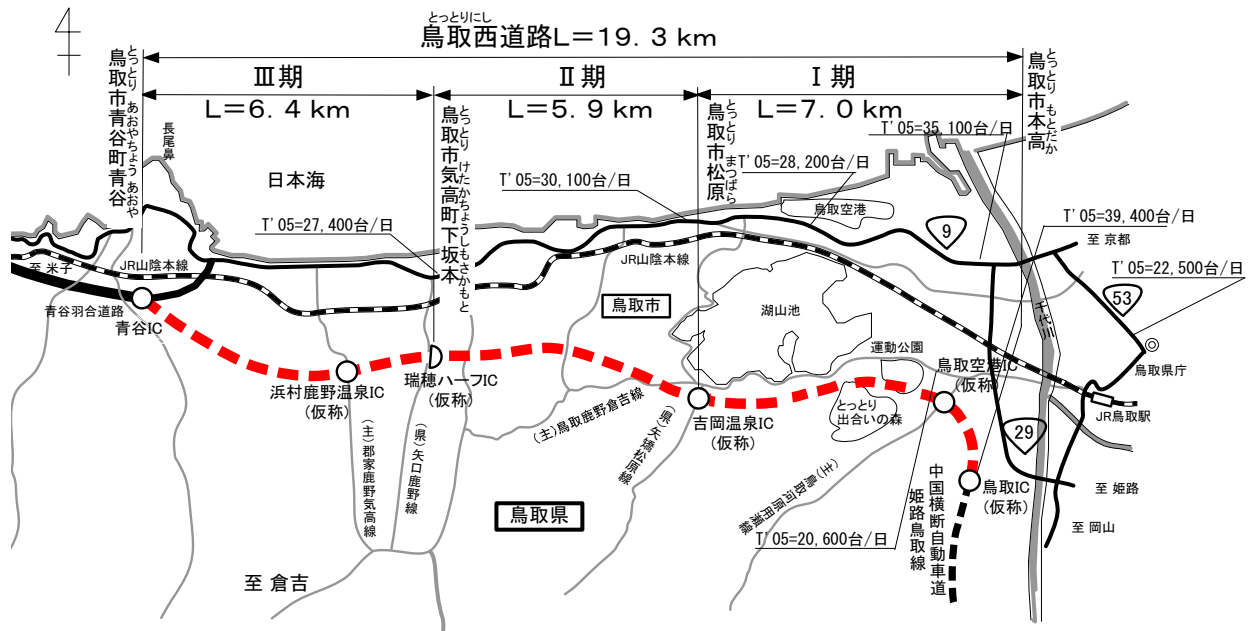
期待される整備効果

- 鳥取県東部地域と山陽地域や京阪神方面との連携強化により、輸送・移動時間の短縮が図られ、産業・経済・文化・観光面での活性化が期待されます。
【鳥取市～関西圏:3時間20分→2時間30分(約50分短縮)】
- 高次の医療サービスの享受など、緊急時における円滑・迅速な活動が支援されます。
- 災害時等における、安全度・安心度の高い生命線となります。

とっとり にし 一般国道9号 鳥取西道路

鳥取西道路は、一般国道9号の交通混雑の緩和、交通安全の確保及び交通事故等による通行止め時の代替路の確保を目的とした、鳥取市本高から鳥取市青谷町青谷に至る延長約19.3kmの道路です。

平成21年度は、鳥取市本高～鳥取市松原間において橋梁、改良工事を推進するとともに、鳥取市松原～鳥取市青谷町青谷間の用地買収及び調査・設計を推進します。



現道状況



国道9号朝通勤時の渋滞状況 (H19.C)
下坂本交差点付近より東方面を望む



国道9号通行止め時の渋滞状況 (迂回路)
鳥取鹿野倉吉線 (三徳地区)



国道9号通行止め時の渋滞状況 (迂回路)
八東水トノ礼付近より西方面を望む

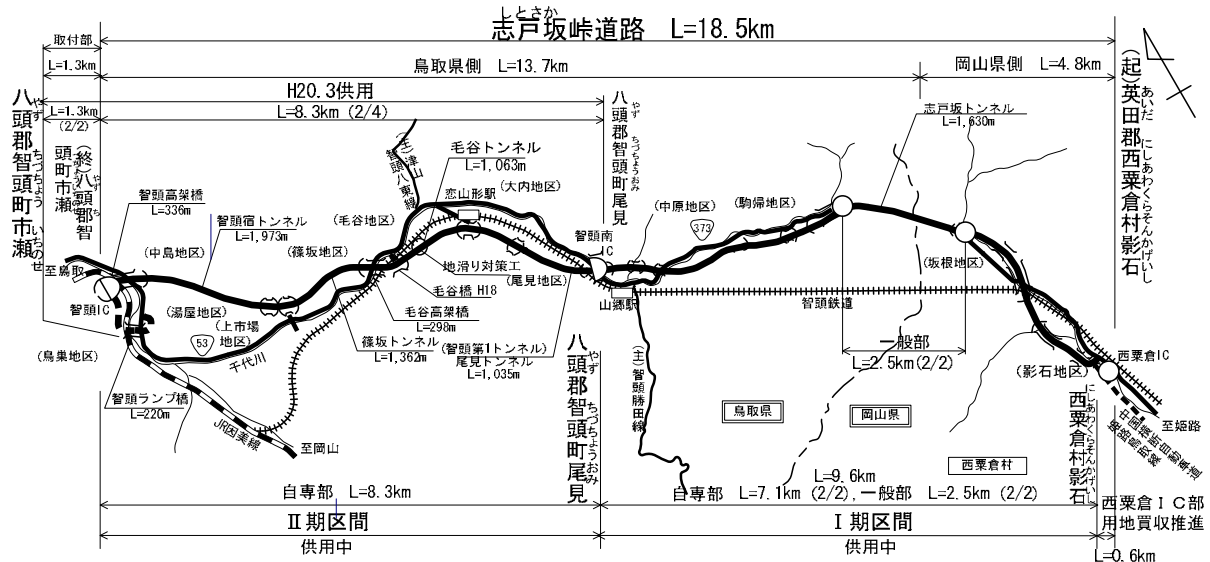
期待される整備効果

- 中国横断自動車道姫路鳥取線との一体整備により、交流・連携が促進され、観光、物流など、地域の活性化が期待されます。
- 朝に慢性的な渋滞が発生している下坂本交差点付近の渋滞が緩和されます。
【鳥取市青谷町～鳥取駅: 42分→27分(約15分短縮)】
- 災害や重大事故等の際に、国道9号の代替路線が確保されます。

一般国道373号 志戸坂峠道路

志戸坂峠道路は、一般国道373号の鳥取と岡山県境部に位置する延長18.5kmの道路であり、交通隘路区間の解消及び鳥取自動車道との連携により山陽地域や京阪方面との連携を目的とした高規格な道路です。目標であった平成19年度に全線2車線供用を開始しています。

平成21年度は、昭和56年に供用した志戸坂トンネルを含むI期区間について、電気・機械設備の整備を行います。



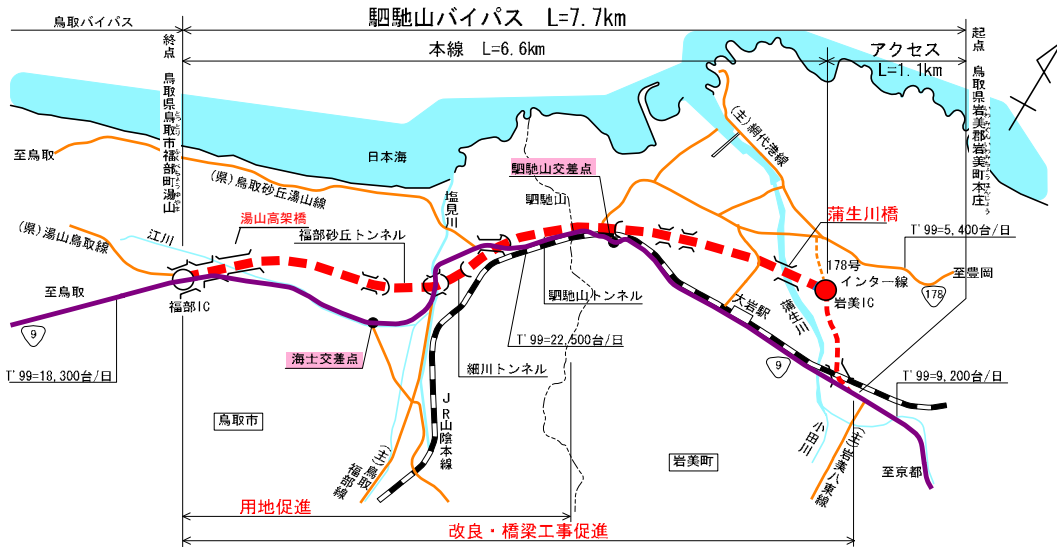
<智頭南IC上空から県境方面を望む>

一般国道9号 駒馳山バイパス

事業費 1,850百万円

駒馳山バイパスは、一般国道9号の岩美郡岩美町から鳥取市福部町間の交通安全の確保及び峠部の線形不良箇所の解消を目的とする道路です。

平成21年度は、引続き設計及び用地買収を促進し、福部地区及び大谷・本庄地区等において、改良工事(盛土・地盤改良)及び湯山高架橋などの橋梁工事を推進します。



岩美IC付近から西方面を望む

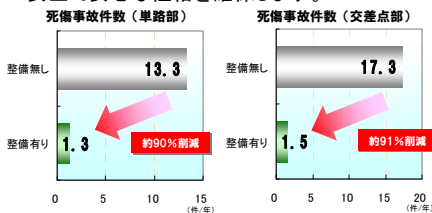


大谷地区から岩美IC方面を望む

期待される整備効果

効果1) 「安全で信頼性の高い道路ネットワークの確保」

災害や緊急時における代替路を整備し、安全で安心な性格を確保します。



※整備なし、整備あり時の交通量はH42 交通量推計結果による
 ※算出方法は『交通事故減少便益原単位の改定案について』;H15.3国土交通省による



効果2) 『所要時間の短縮』

駒馳山バイパスの整備により、所要時間が5分短縮されます。



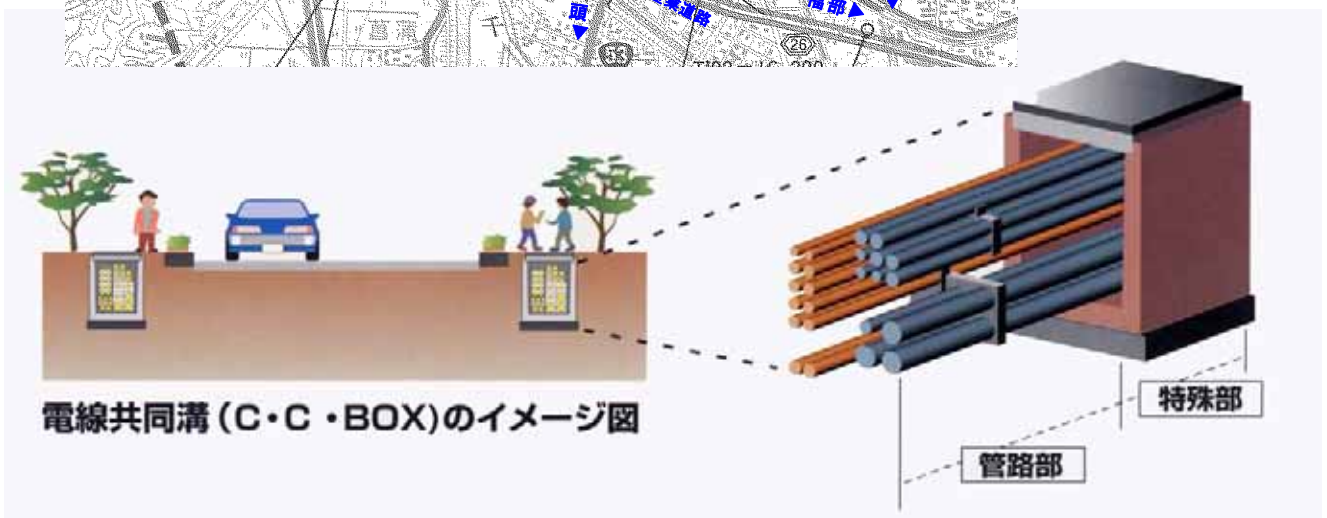
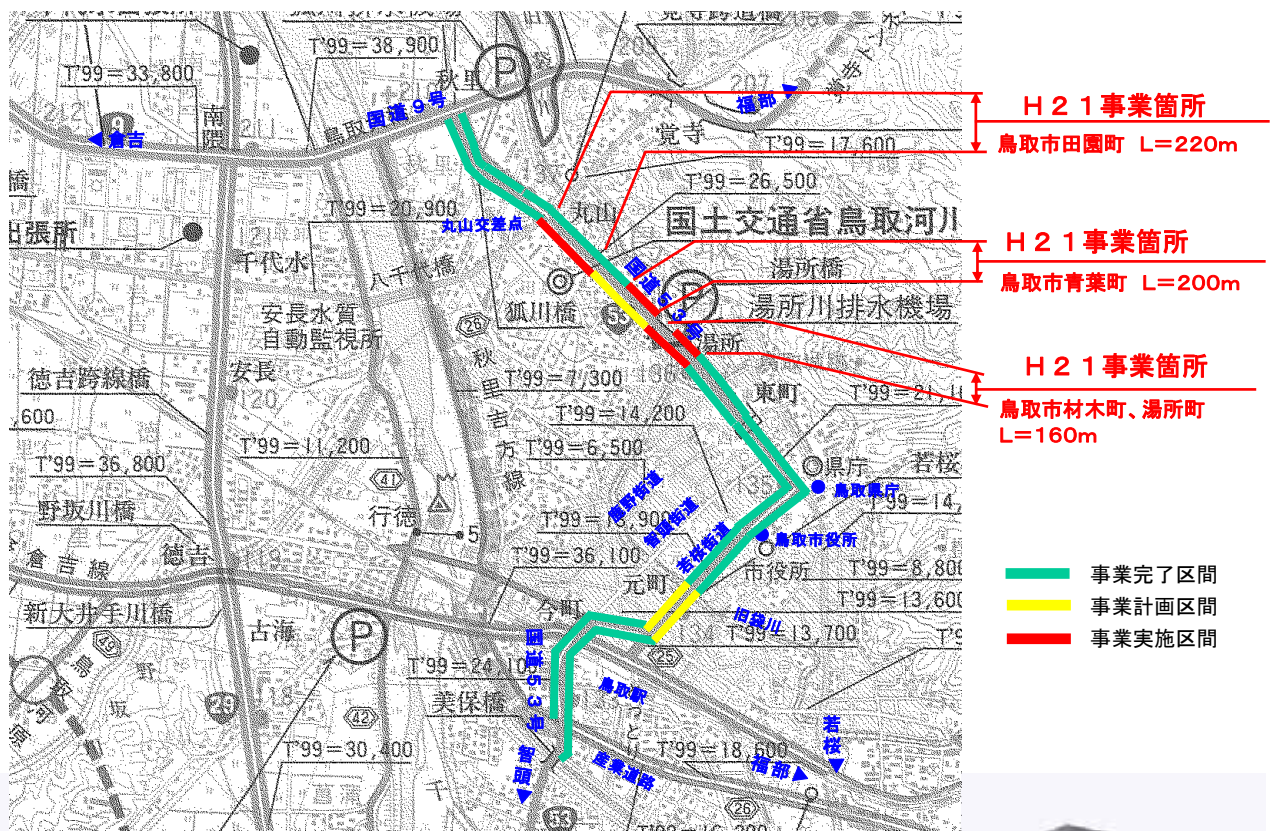
※現況: H17年度道路交通センサス混雑時旅行速度より算出
 将来: 駒馳山バイパス本線の旅行速度80km/h、アクセス部の旅行速度60km/hとして算定

電線共同溝整備事業

電線共同溝は、道路地下に光ファイバー、電力ケーブル等をまとめて収容するもので、地中化により、災害時の避難路・輸送経路の確保、歩行者空間及び交通安全の確保、路上工事の削減による渋滞の減少、良好な都市景観の形成、電力・通信の安全性・信頼性の向上等が図られます。

鳥取市内の一般国道53号で整備を進めており、これまでに鳥取市天神町から今町、新町から本町及び西町で整備を完了しています。

平成21年度は一般国道53号の鳥取市材木町、湯所町、青葉町および田園町の事業を進めていきます。



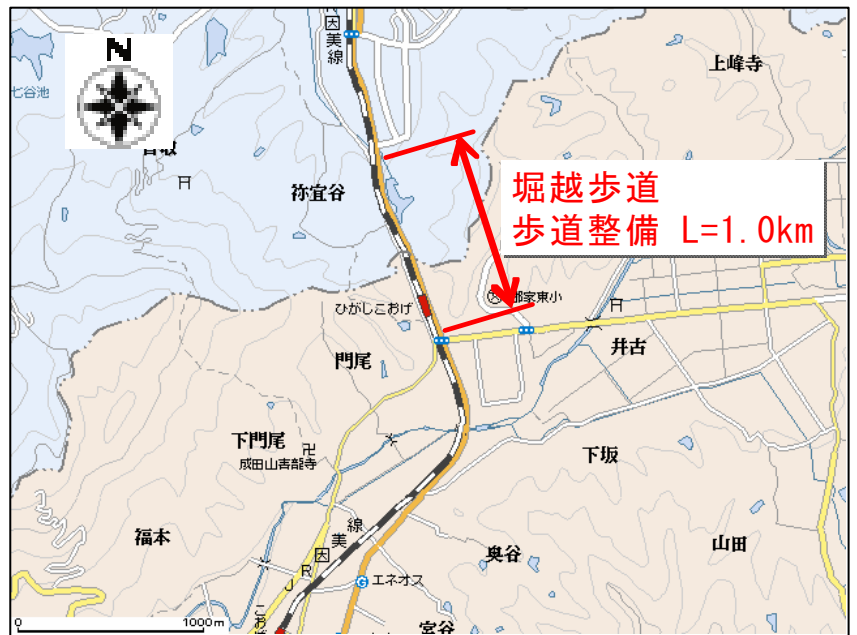
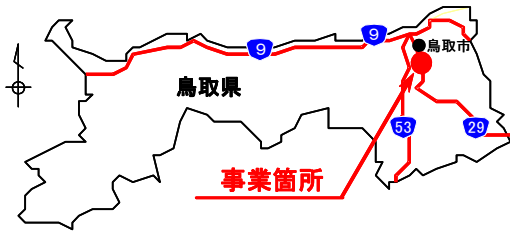
一般国道29号 ほりこし 堀越歩道整備

事業費 60百万円

一般国道29号の八頭郡八頭町堀越～鳥取市祢宜谷に位置する当該地区は、JR因美線と山に29号が挟まれており歩道の狭い区間で、JR側に道路をよせることにより現況歩道を拡幅する事業です。

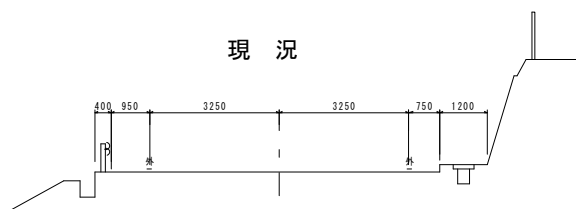
平成21年度は、工事に着手し、整備を推進します。

【位置図】

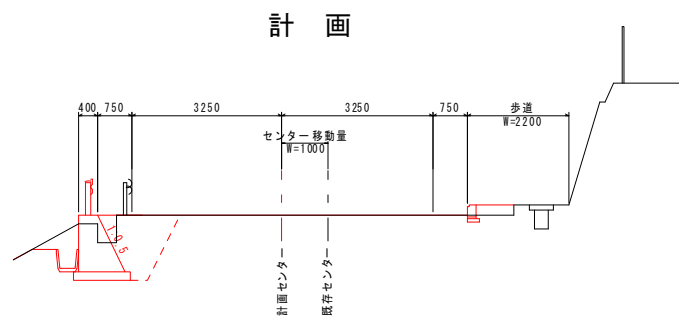


現在の状況

現況



計画



殿ダム工事事務所

殿ダム建設事業

○ダム本体工事の促進

ダム本体盛立工事ならびに洪水吐きコンクリート打設工事を推進するとともに、ダム管理用設備工事等に着手します。

事業費 8,455百万円



ダムサイト状況(上流より、平成21年3月)



殿ダム完成予想図

○付替道路工事の促進

付替道路工事は、平成13年度から本格的に工事を実施し、平成18年12月に鳥取国府岩美線の一部および市道神護1号線全線を供用しています。

- ▼工事発注進捗率(平成21年3月末)
付替県道 約98%、付替市道 約65%

平成21年度は、主要地方道鳥取国府岩美線の全線供用を目指して付替県道工事を推進するとともに、貯水池横断橋などの付替市道(楠城山崎線ならびに神護殿線)の工事を推進します。



主要地方道鳥取国府岩美線



貯水池横断橋工事状況
(橋梁下部工完了)



倉吉河川国道事務所

[河川事業]

C=269百万円

1) 本泉箇所

本泉箇所は、橋梁補修計画がある河戸橋改築により、河積断面の阻害率超過、桁下余裕高不足を解消し、同時に河道掘削を行い、流下能力の向上をはかるものである。

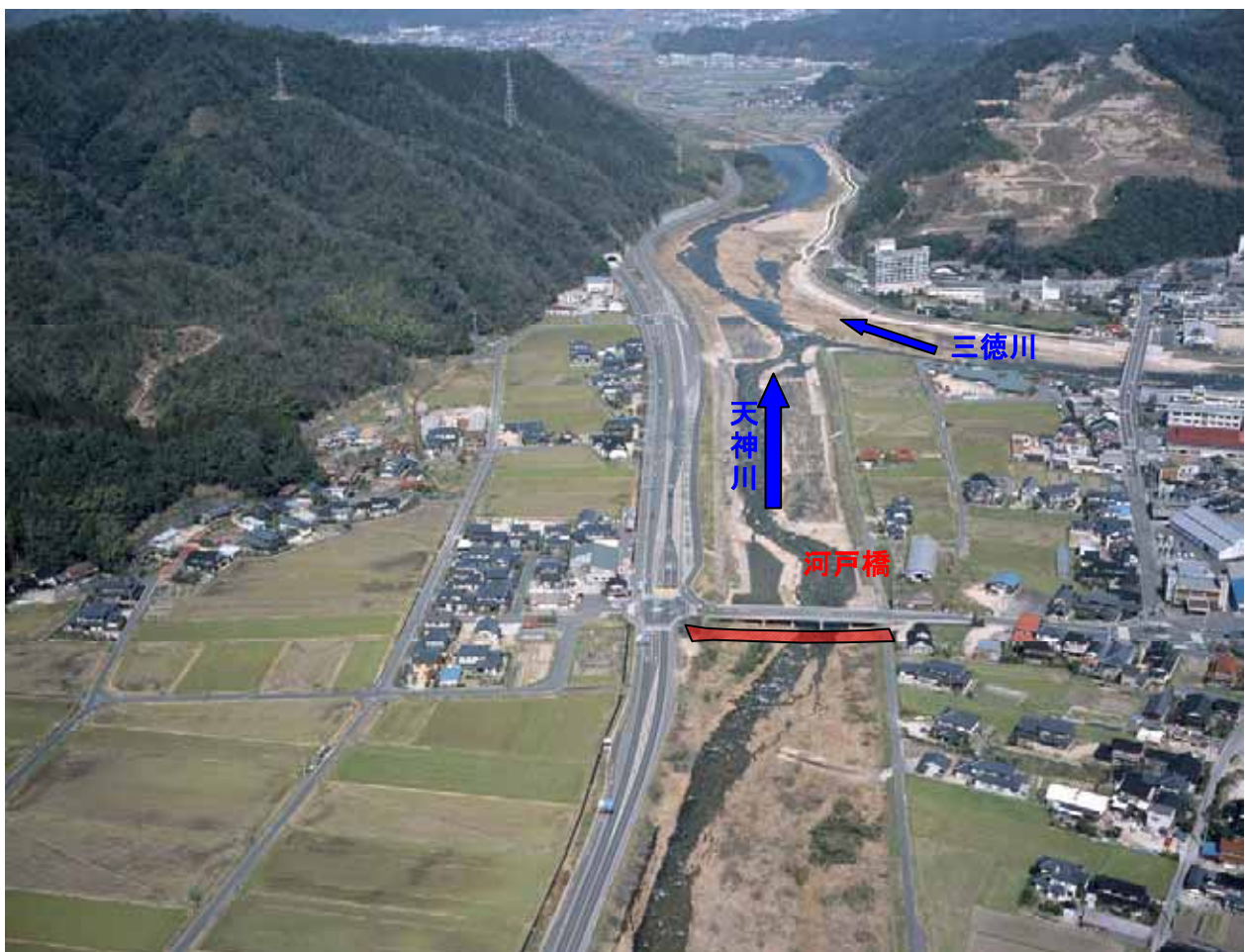
[平成21年度事業内容]

橋梁詳細設計、新河戸橋の橋台1基 (A2)、橋脚1基 (P2)

新河戸橋諸元

橋長 72.3m

幅員 (車道7.25m・歩道2.5m)



[砂防事業]

0=358百万円

1)小泉2号砂防堰堤

小泉2号砂防堰堤は、下流の土石流危険区域内にある民家及び小泉地区住民で設けられた「清流遊YOU村」施設を土石流、流木の直撃による被害から守るとともに、下流への有害な土石流出を防止する基幹施設として、計画した砂防堰堤である。

そのため、平成17年度より事業着手した。

[平成21年度事業内容]

前庭保護工の促進。

小泉2号砂防堰堤の規模

高さ:12.7m

長さ:85.5m



C=26百万円

2) 野添5号砂防堰堤

野添5号砂防堰堤は、泉谷川下流部の民家はもとより、泉谷川下流の小鴨川流域での土砂災害及び流木による被害から守るための基幹施設として計画した砂防堰堤である。

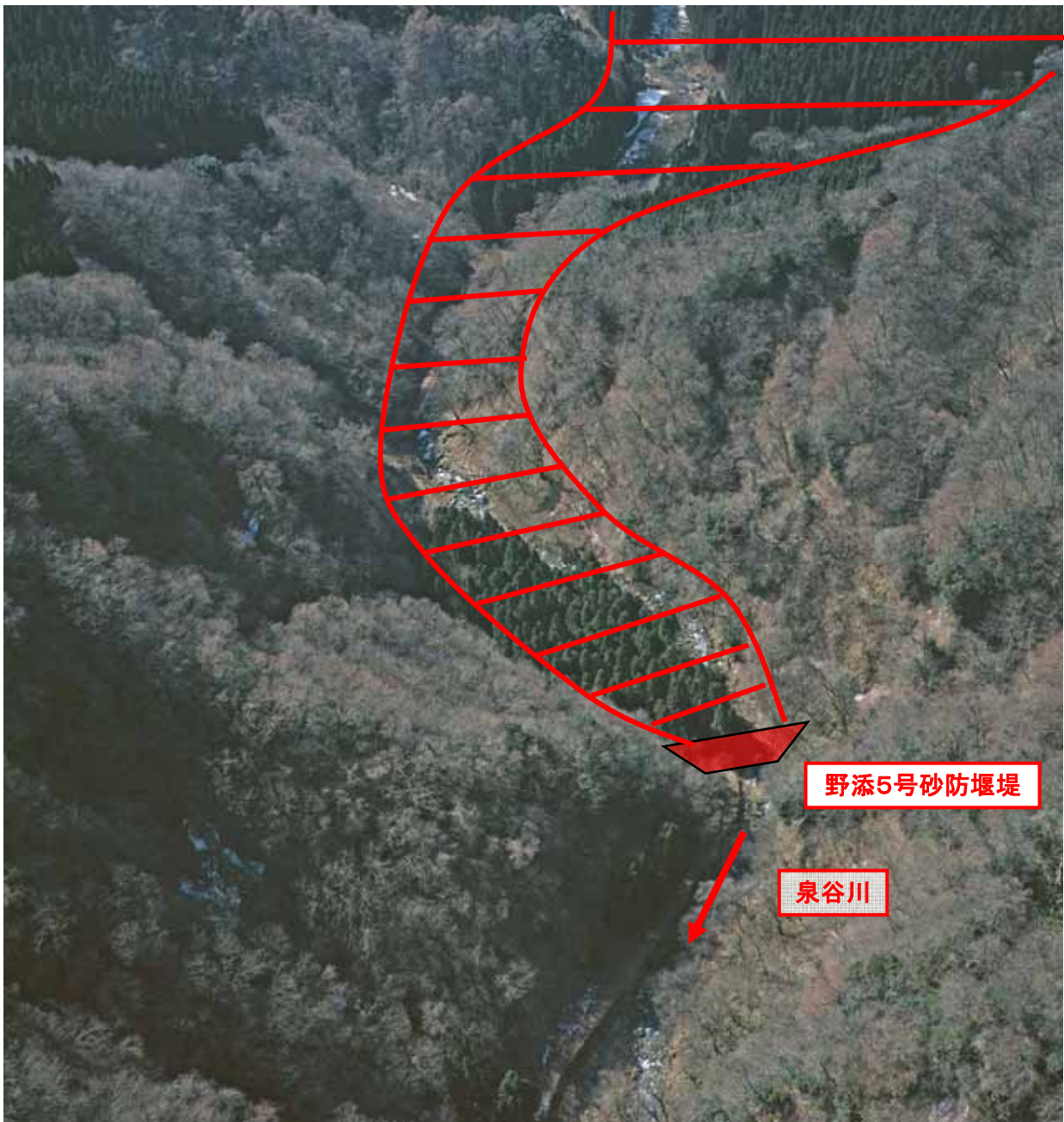
[平成21年度事業内容]

用地買収の促進。

野添5号砂防堰堤の規模

高さ: 14.5m

長さ: 74.0m



3) 下畑砂防堰堤

下畑砂防堰堤は、大谷川下流部の民家はもとより、大谷川下流の天神川本川流域での土砂災害及び流木による被害から守るための基幹施設として計画した砂防堰堤である。

そのため、平成17年度より事業着手した。

[平成21年度事業内容]

本体工(主堰堤)の促進。

下畑砂防堰堤の規模

高さ:11.5m

長さ:60.6m

下畑砂防堰堤



C=26百万円

4) 福本砂防堰堤

福本砂防堰堤は、福本川下流部の民家はもとより、福本川下流の天神川本川流域での土砂災害及び流木による被害から守るための基幹施設として計画した砂防堰堤である。

[平成21年度事業内容]

用地買収の促進。

福本砂防堰堤の規模

高さ: 8.5m

長さ: 65.0m



[道路事業]

(1) 東伯・中山道路

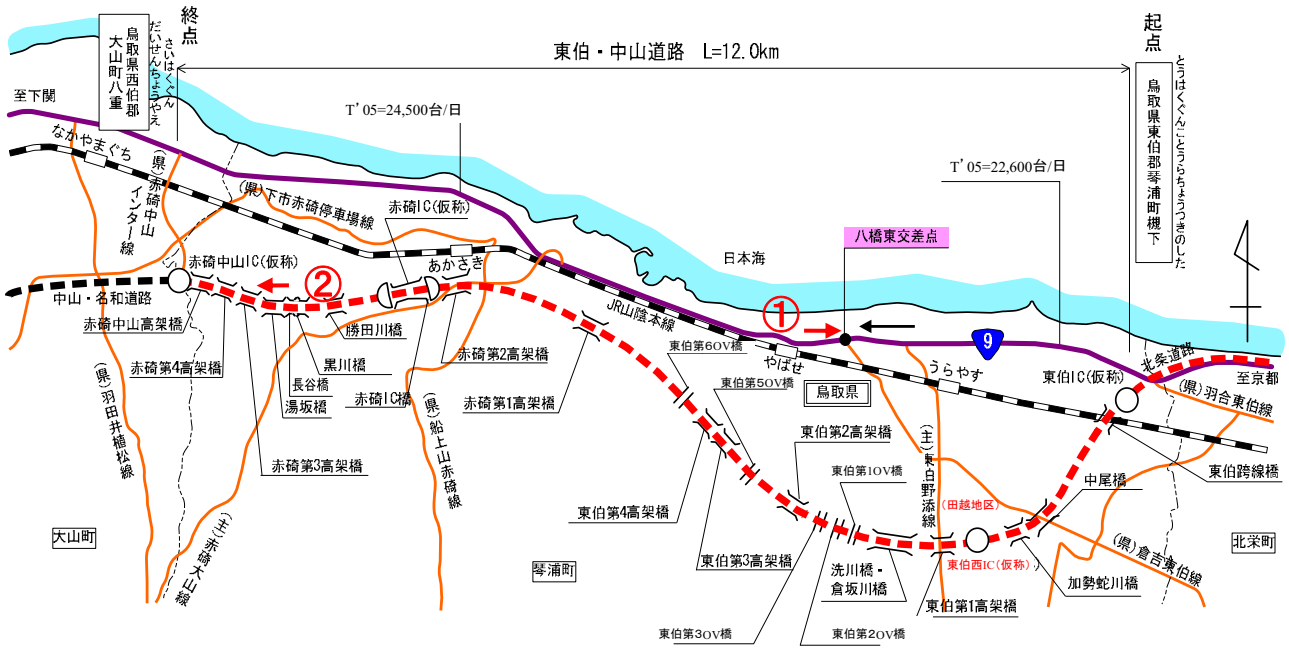
事業費 5,730百万円

東伯・中山道路は、一般国道9号の交通混雑の緩和を実現し広域交流の促進及び地域の活性化に寄与するとともに、事故等による通行規制時における代替路の確保や高次医療施設への時間短縮など、緊急時における円滑・迅速な活動の支援にも寄与するものです。

現在、用地買収は概成し、文化財調査、改良・橋梁工事を促進しています。

【平成21年度事業内容】

平成21年度は、東伯、田越地区等の改良工事、赤碕地区等の橋梁工事および舗装工事を促進します。



琴浦町八橋付近の交通状況 (八橋交差点付近)



工事の進む赤碕地区
(黒川橋付近から赤碕中山ICを望む)



[道路事業]

(2)名和・淀江道路

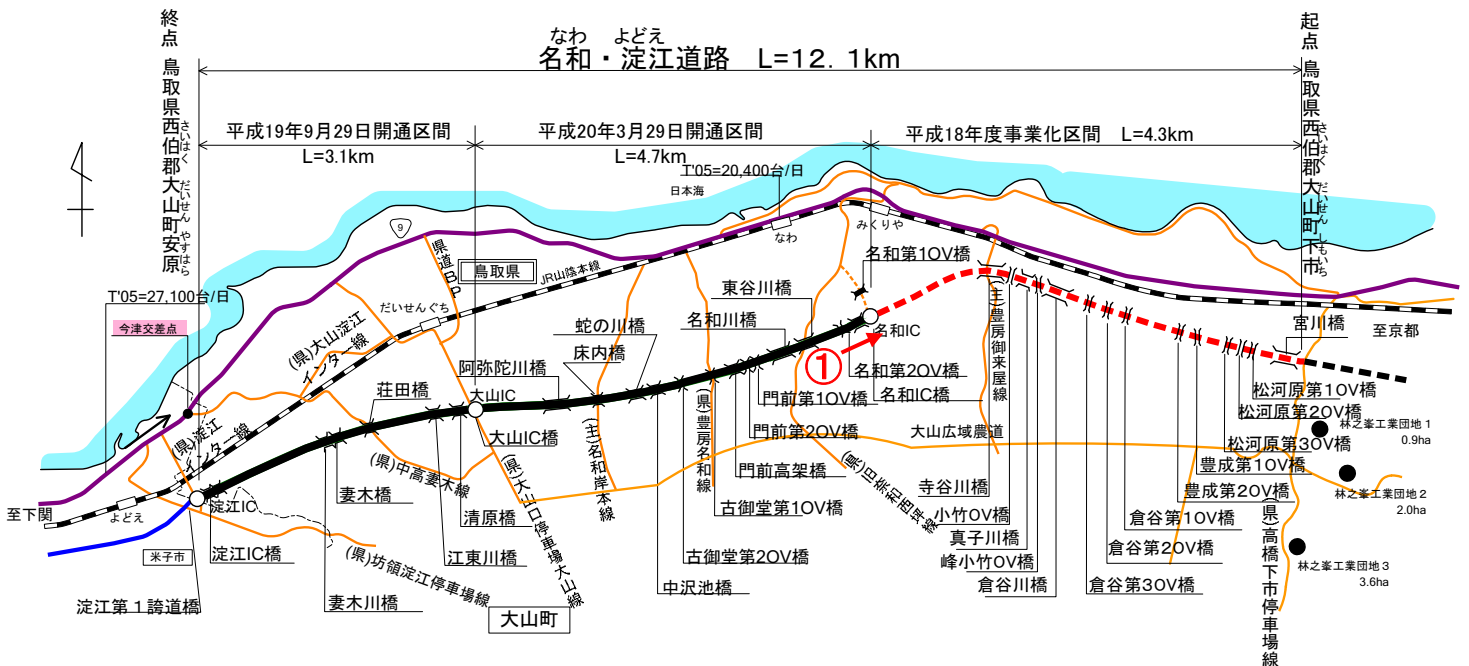
事業費 1, 310百万円

名和・淀江道路は、一般国道9号の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした道路で、平成8年度から事業に着手し、西伯郡大山町名和～安原間について、平成19年9月29日に大山ICから淀江IC間(L=約3.1km)を開通させ、平成20年3月29日には名和ICから大山IC間(L=約4.7km)が開通しました。

残りの約4.3km区間については、平成18年度より西伯郡大山町下市～名和間についても着手しており、調査・設計、用地買収、文化財調査および改良工事を進めています。

【平成21年度事業内容】

平成21年度は、残りの約4.3km区間について、用地買収、文化財調査を促進すると共に上坪地区の改良工事、倉谷地区等の橋梁工事を促進します。



日本海より南西を望む



工事の進む名和IC付近
(名和ICより東を望む)

〔道路事業〕

(3) 中山・名和道路

事業費 750百万円

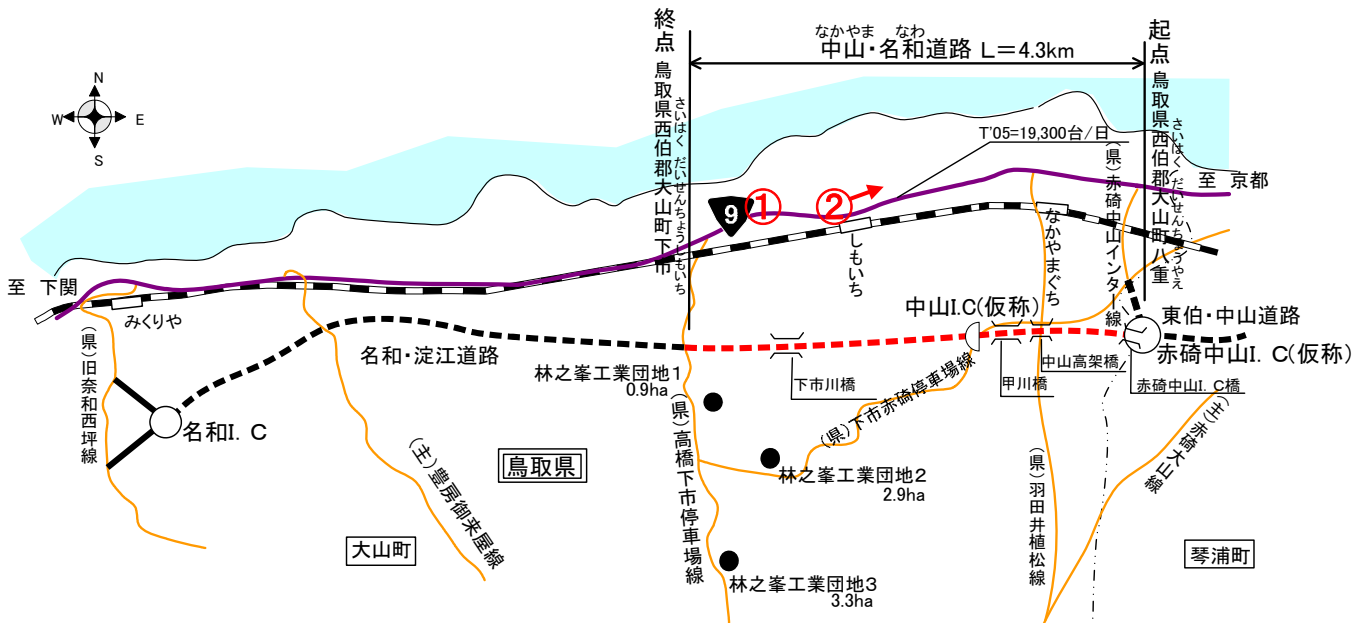
中山・名和道路は、一般国道9号の交通安全および災害や重大事故等の非常時における代替路の確保を目的に計画された、西伯郡大山町八重から下市へ至る延長4.3kmの道路です。

供用後は、現在整備中の「東伯・中山道路」及び「名和・淀江道路」を結ぶ路線となります。

平成19年度より事業を進めており、調査・設計を進めるとともに用地買収に着手しています。

【平成21年度事業内容】

平成21年度は、引き続き、調査・設計、用地買収を促進すると共に、文化財調査及び赤碕中山IC付近の改良工事に着手します。



①

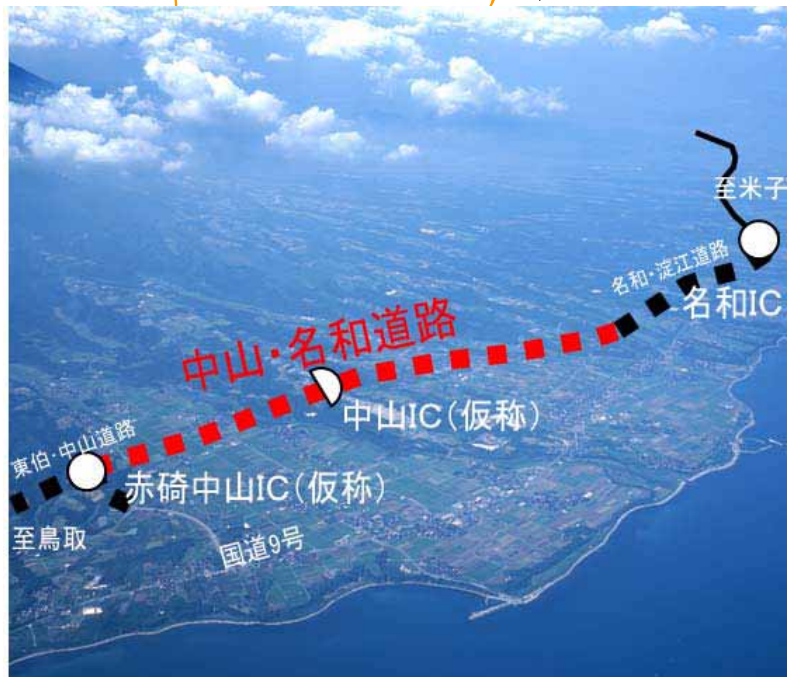


大山町上市付近の交通事故状況 (H18. 7)

②



住宅密集地を通過する大型車



日本海から南西を望む

[道路事業]

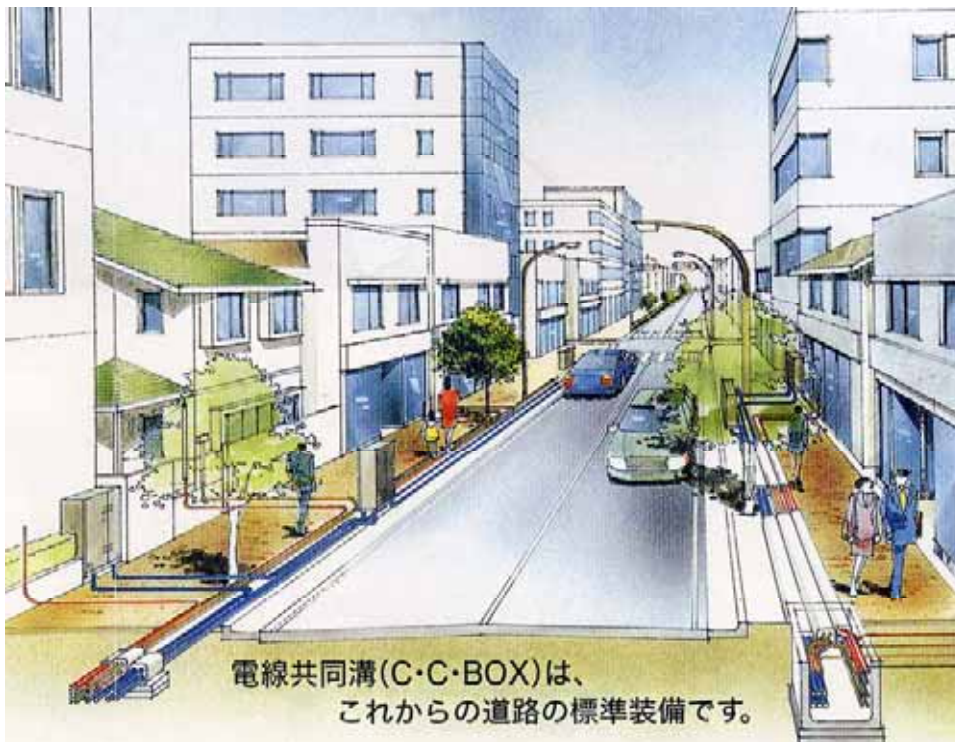
事業費 36百万円

(5) 国道9号 米子電線共同溝

電線共同溝事業は、電力、電話、通信に使用される電線類をまとめて地下に埋設するもので、IT社会の要である情報通信基盤の整備はもとより、地震や台風等の災害に対して安全性が向上します。また、歩道から電柱が撤去されるために歩道上の障害物が少なくなり、町の景観が改善されるなどのメリットがあります。

【平成21年度事業内容】

平成20年度に完成した米子市東福原の電線共同溝本体へ引込管路の施工を行い、施工完了後に電線類を電線共同溝本体へ入線及び電柱の撤去を行います。



国道9号 米子市東福原地内

日野川河川事務所

平成21年度 日野川河川事務所 「日野川 溝口地区改修事業」

事業費 315百万円

1. 事業概要

溝口地区は、日野川右岸上流部に位置し、背後に溝口市街地をはじめ、国道181号線、JR伯備線等の主要幹線を控える重要な地域です。

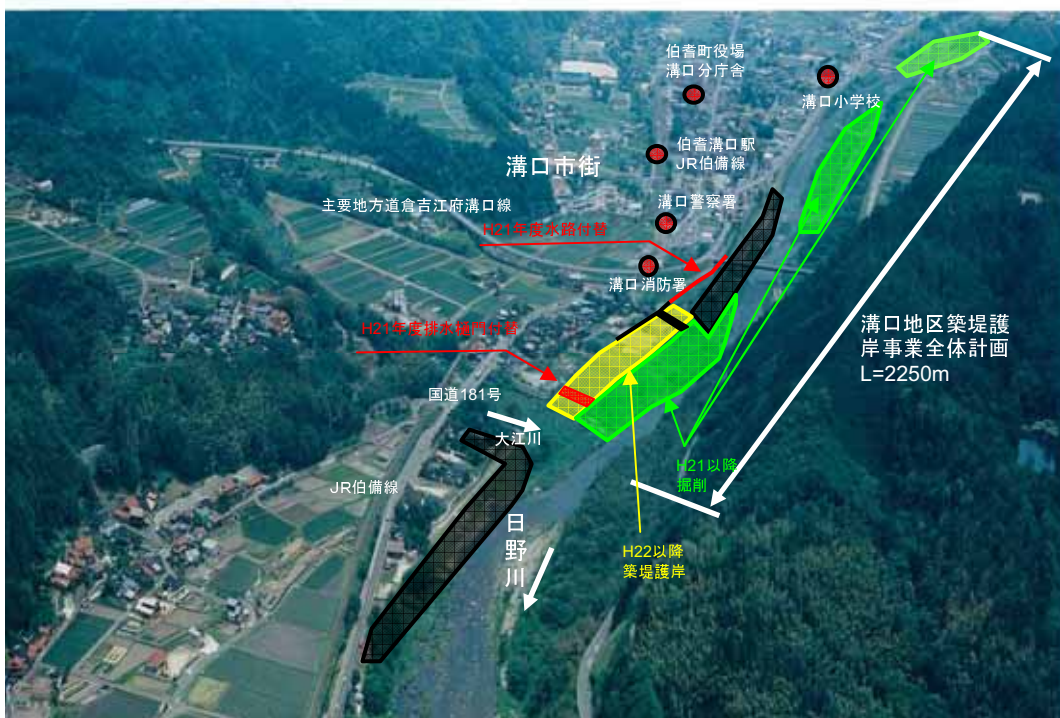
当箇所の一連区間がまだ未改修で、局所的な無堤部及び堤防高不足箇所が存在するほか、近年の出水においても近傍の観測所で警戒水位を越える出水が発生し、河川管理施設の災害も発生しました。

平成18年度より、当箇所の改修事業に新規着手しており、平成21年度は排水樋門の付替え及び水路の付替え工事の延伸を実施して行きます。

2. 位置図



3. 現況写真



「大山山系(日野川水系)直轄砂防事業」

1. 事業概要

大山山系(日野川水系)直轄砂防事業は、解体期にある大山及び各溪流から流出する土砂被害から地域住民の生命と財産を守るため実施しており、引き続き整備率向上を図ると共に、下流域へバランスのとれた土砂供給を行うため、水系一貫した流域土砂管理の砂防事業を展開していきます。

平成21年度事業内容

真野2号砂防堰堤：土砂災害対策の促進として、H22年度内完成に向け、本体周辺工事を促進します。

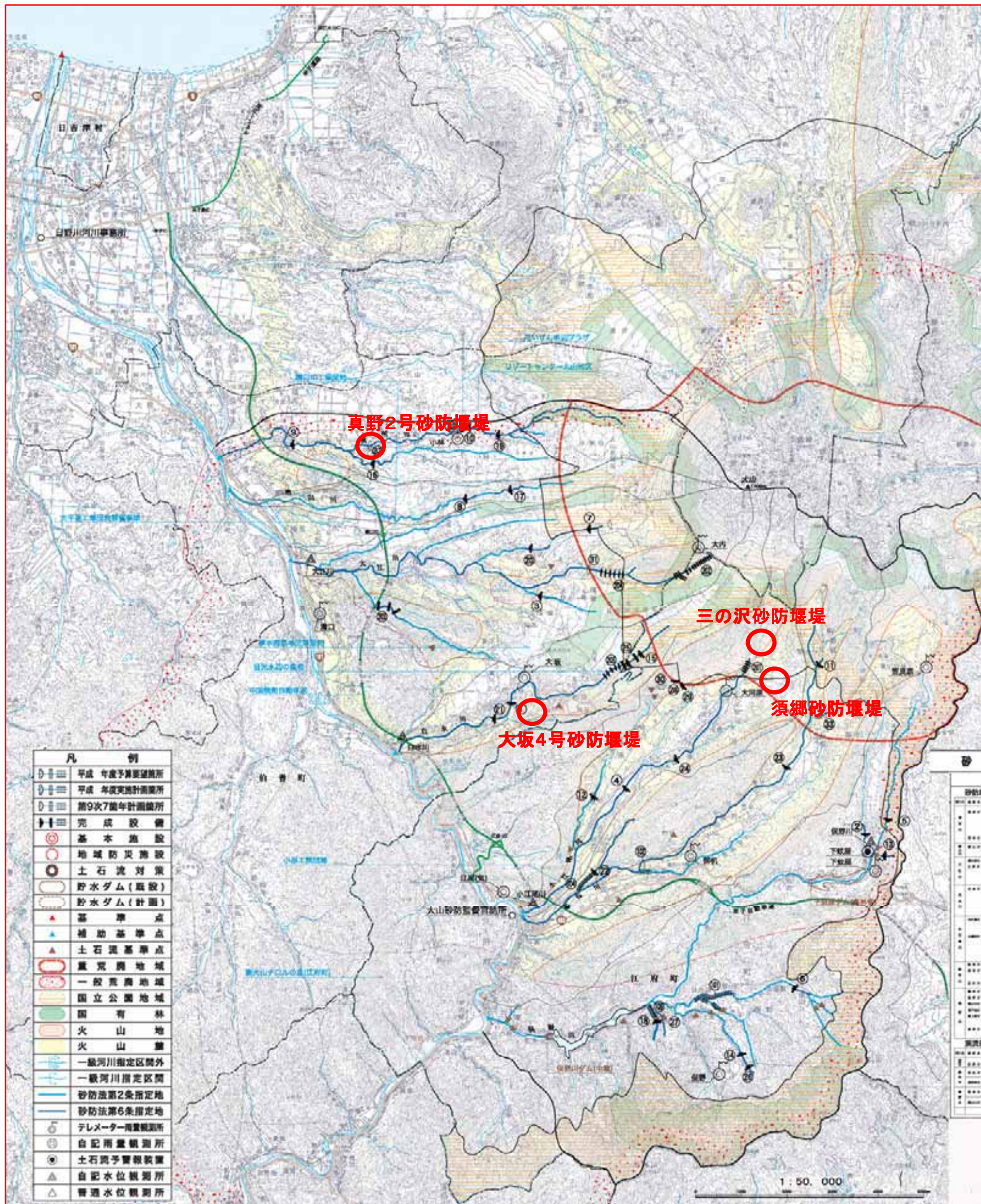
大坂4号砂防堰堤：土砂災害対策の促進として、工事に着手します。

三の沢砂防堰堤：土砂災害対策の促進として、事業に着手します。

須郷砂防堰堤：土砂災害対策の促進として、事業に着手します。



「大山山系(日野川水系)直轄砂防事業」



「大山山系(日野川水系)直轄砂防事業」

真野2号砂防堰堤



真野2号砂防堰堤

整備土砂量=226,200m³, H=14.0m, L=94.0m
堰堤のタイプ:コンクリートスリット型砂防堰堤

別所川の土砂災害の軽減及び日野川への土砂流出の抑制を目的に設置。

大坂4号砂防堰堤



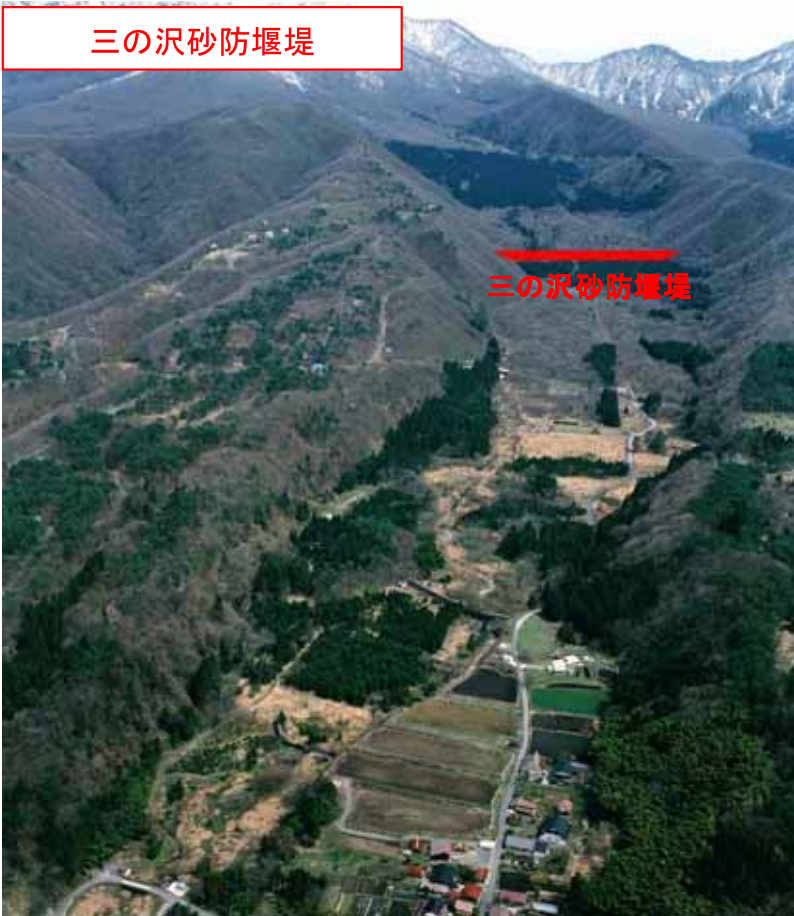
大坂4号砂防堰堤

整備土砂量=44,000m³, H=14.5m, L=52.0m
堰堤のタイプ:鋼製スリット型砂防堰堤

白水川の土砂災害の軽減及び日野川への土砂流出の抑制を目的に設置。

「大山山系(日野川水系)直轄砂防事業」

三の沢砂防堰堤

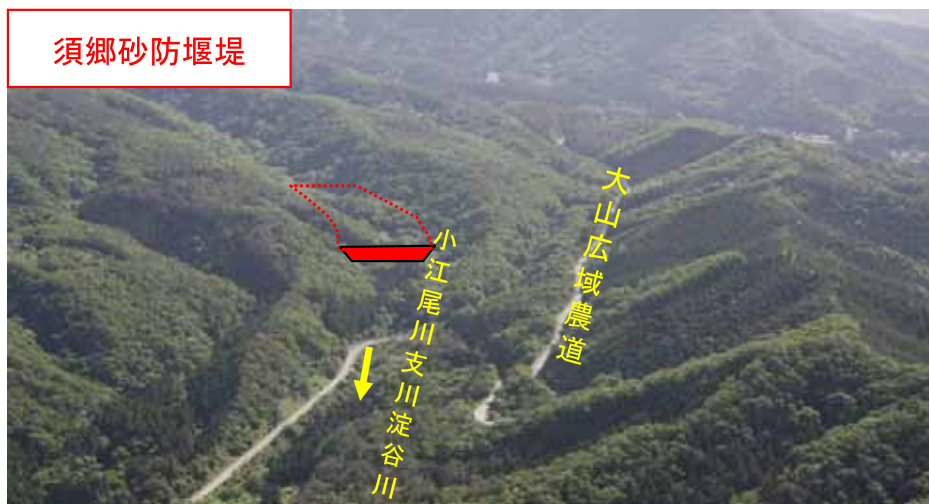


三の沢砂防堰堤

整備土砂量=119,300m³, H=11.5m, L=約300m
堰堤のタイプ:鋼製スリット型砂防堰堤

小江尾川の土砂災害の軽減及び日野川への土砂流出の抑制を目的に設置。

須郷砂防堰堤



須郷砂防堰堤

整備土砂量=73,300m³, H=14.5m, L=約74m
堰堤のタイプ:鋼製スリット型砂防堰堤

小江尾川の土砂災害の軽減及び日野川への土砂流出の抑制を目的に設置。

平成21年度 日野川河川事務所 「直轄海岸保全施設整備事業」

1. 事業概要

皆生海岸は中国地方で唯一の直轄海岸保全事業を行っている海岸であり、これまでの構造物主体の侵食対策に代わり、自然特性を利用した「サンドリサイクル工法」など土砂管理による侵食対策に取り組んでいきます。

平成21年度は、現在の皆生海岸において最も侵食が深刻な富益工区において「サンドリサイクル」を継続するとともに、富益工区で4基目の「人工リーフ」を完成させることにより、安定した海浜の確保を目指した侵食対策を実施して行きます。

2. 位置図



2. 現況写真



海岸侵食が進む夜見富益工区(H18.12.8撮影)



富益工区の人エリーフ(H20年度末で3.5基整備済)



人工リーフとサンドリサイクルの整備イメージ

平成21年度 日野川河川事務所 「菅沢ダム直轄堰堤改良事業」

事業費 97百万円

1. 事業概要

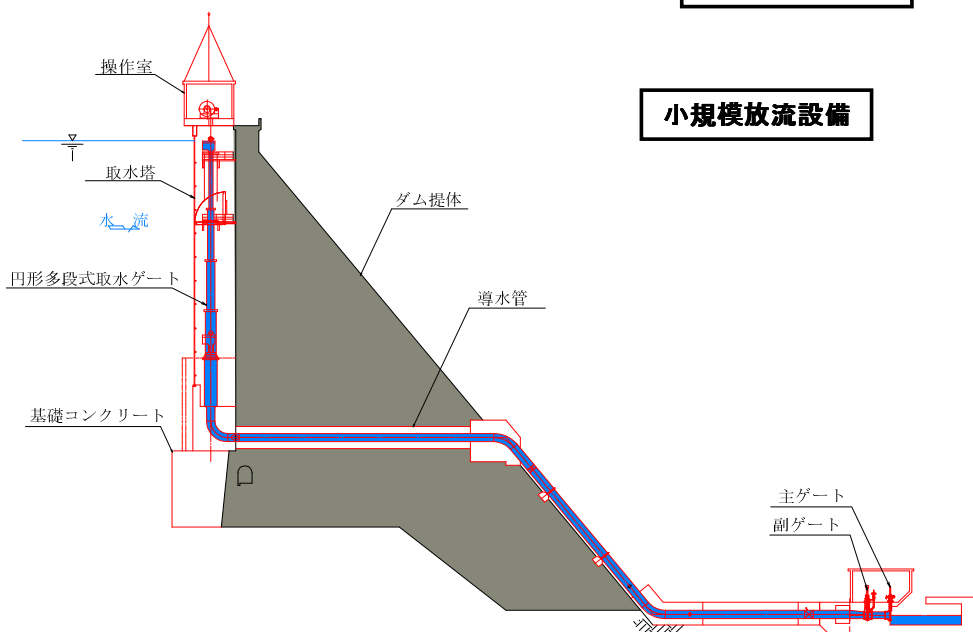
菅沢ダムは、昭和43年9月に完成して以来、適正な維持管理を行い、洪水調節、かんがい用水の補給、工業用水の供給、発電の各機能を発揮してきました。

しかしながら、管理移行後37年余りが経過し、ダム設備の老朽化等に伴いダムの機能確保、適正管理に支障をきたし、対策が必要となったため、平成14年度から直轄ダム施設改良事業（平成17年度から直轄堰堤改良事業に名称変更）による調査、検討に着手しています。）

平成20年度までに、庁舎及び常用洪水吐きゲートの改造・ダム放流設備制御装置の設置の完了と小規模放流設備工に着手しています。平成21年度は、小規模放流設備工を継続して促進していきます。



完成イメージ図



境港湾・空港整備事務所

平成 21 年度 境港湾・空港整備事務所

『鳥取港改修事業』

事業費 801 百万円

1. 事業概要

鳥取港は、平成 15 年 11 月に中国・四国地方整備局が制度化した「みなとオアシス」制度の第 1 弾として、平成 16 年 1 月に登録されました。これからは物流のみでなく、地域の人々や観光客の交流拠点となるような港湾整備も期待されています。

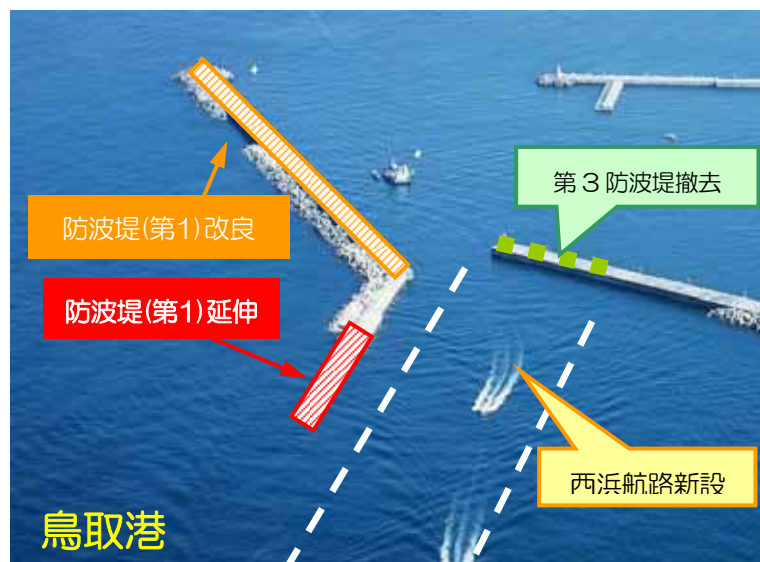
しかし、鳥取港に入出港する船舶が現在利用している千代航路は、日本海特有の厳しい冬季波浪等により、しばしば港口付近がじょう乱するなど、航行船舶の安全性に問題を抱えています。

このため、年間を通じて安全かつ利用しやすい港となるように、新規航路（西浜航路）の開設に必要な防波堤（第 1）の西側への延伸事業や、港内への越波防止・港外への反射波対策等に必要な改良事業を実施しています。

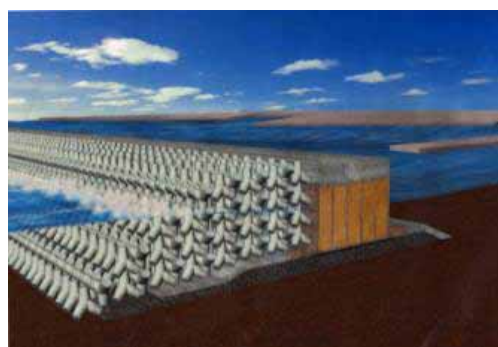
延伸事業につきましては、平成 20 年度までに、防波堤の延伸総延長 300m のうち約 225m が概成しており、平成 20 年度一次補正予算に引き続き、防波堤の延伸のためのケーソン製作工等を実施します。

改良事業につきましては、平成 20 年度二次補正予算に引き続き、上部工を実施し、平成 21 年度の完成を目指します。

2. 現況写真



3. 完成イメージ



『境港改修事業』

事業費 601 百万円

1. 事業概要

境港および中海沿岸地域は、平成7年にFAZ(わが国の輸入促進地域)に指定され、環日本海時代の西日本の物流・交流拠点として、その機能充実が図られてきました。

境港のコンテナ取扱貨物量は約1万5千個(実入りベース)、輸出入総額は前年に引き続き1,000億円を突破するなど、今後も地域経済に資するよう期待されています。

境港では、安全かつ安定した港湾貨物の取り扱いを実現し、背後立地企業の物流効率化を図ること及び背後地域の資産等を守るため、防波堤整備を実施しています。

外港(竹内地区)南端に設置する計画延長(L=300m)の防波堤(2)-1については、港内静穏度の確保とともに、港内で発生する長周期波抑制機能、並びに海水循環機能にも配慮した防波堤として整備しているところであり、平成21年度は、引き続きケーソン築造工事等により約100m延伸する予定です。

2. 現況写真



『美保飛行場（米子空港）整備事業』

事業費 584 百万円

1. 事業概要

美保飛行場は、平成 13 年 4 月に韓国ソウルとの国際定期便が就航開始し、環日本海時代の空の玄関口として、特に山陰両県にとってはますますその発展が期待されています。一方、国内路線は現在、東京、名古屋(中部国際空港) の 2 路線が就航しており、その中でも東京路線は順調な伸びを見せ、今後のさらなる航空需要の増加に伴い、大型機就航のニーズが高まると考えられます。

このような状況の中、将来の旅客需要の増加による航空機の大型化に対応するために、平成 13 年度より現在の 2,000m 滑走路を 2,500m に延長する事業を実施しています。

平成 17 年度に環境影響評価に係る手続きを完了し、これまでに現空港内及び拡張部の用地造成工事、滑走路、誘導路、駐機場（エプロン）の舗装工事等を実施しました。

平成 21 年度は J R 境線及び県道跡地の滑走路・誘導路の舗装工事等を進め、2,500m 滑走路の供用を目指します。

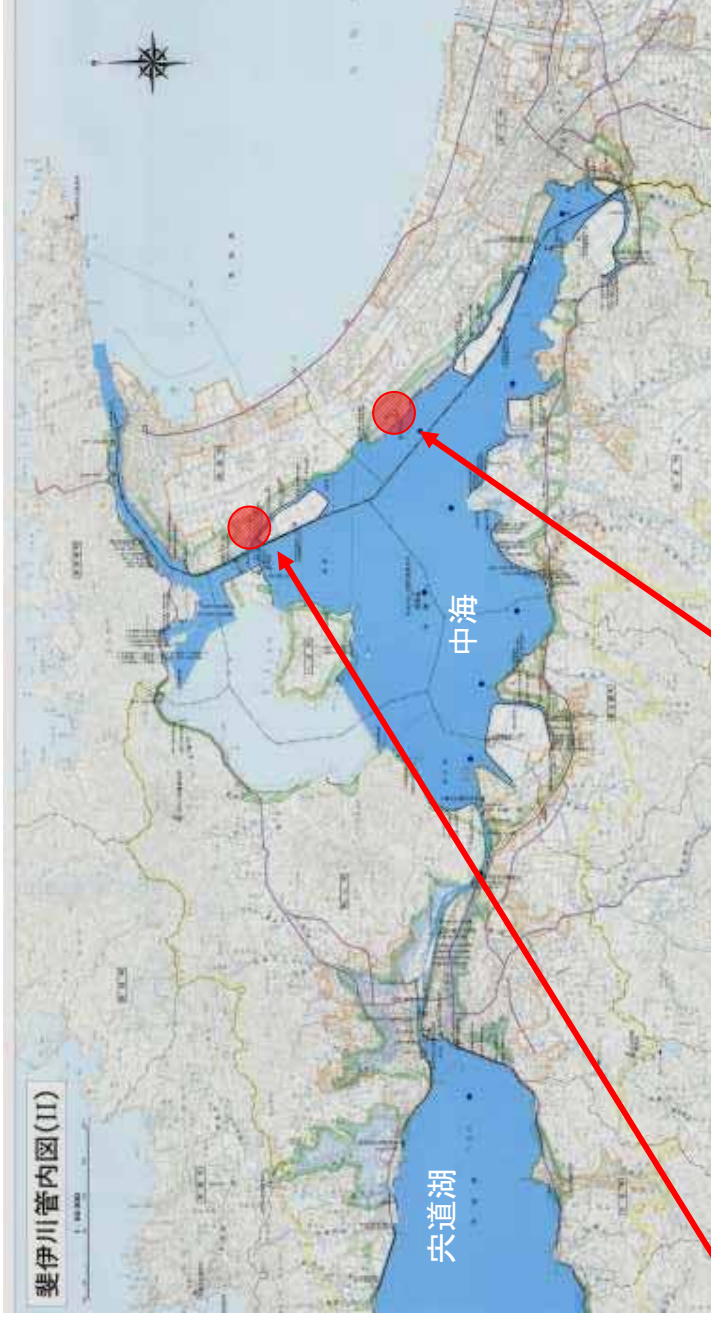
2. 位置図・現況写真



出雲河川事務所

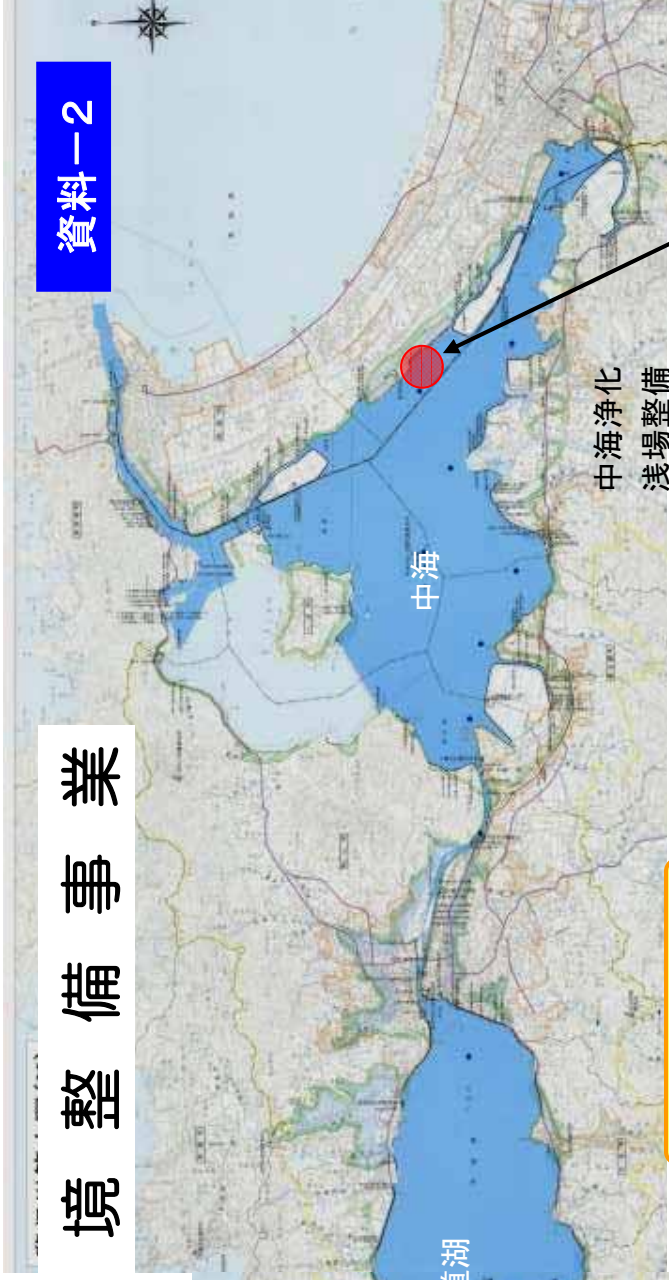
河川改修事業

資料-1



総合水系環境整備事業

資料-2



浅場整備



中海赤潮発生状況



藻場(コアマト)



浅場整備(イメージ)



浅場整備箇所